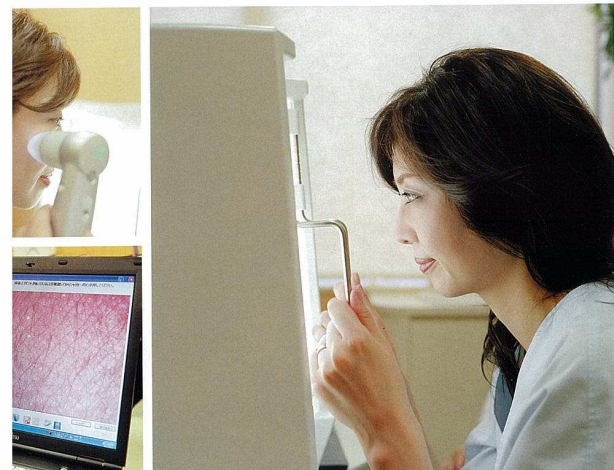


判定項目から、あなたの「老化度」がわかります!

年齢	酸化ストレス度	運動能力度	皮膚年齢	メタボリック危険度
年齢	遺伝子損傷 酸化損傷 脂溶性抗酸化物質 水溶性抗酸化物質 酸化前駆因子	筋力 筋持久力 柔軟度 平衡度 敏捷性	シワ年齢 毛穴年齢 シミ年齢 くすみ年齢 もち肌年齢 うるおい年齢	生活習慣 脂肪蓄積度 肥満度 抗肥満因子 エネルギー消費度

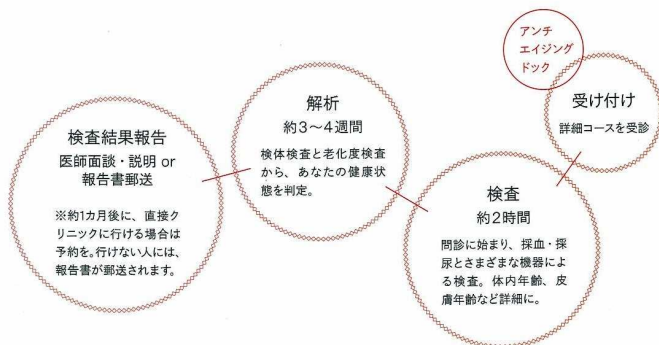
※検査項目は医療機関やドックコースによって異なります。



皮膚年齢は最新のロボ・スキンアナライザーで測定。肌画像を取り込んで解析することで、水分・皮脂量、色素沈着数、シワの数などがアツという間に出てくる。さらに毛穴年齢やくすみ年齢といった6つの皮膚年齢がその場でわかるので、なかなかシビア。

### 科クリニック

動脈硬化・高血圧な習慣病とアンチエイジングクリニック。眼科や携した医療モールやの宅配など、予防医より組む。▷p.145



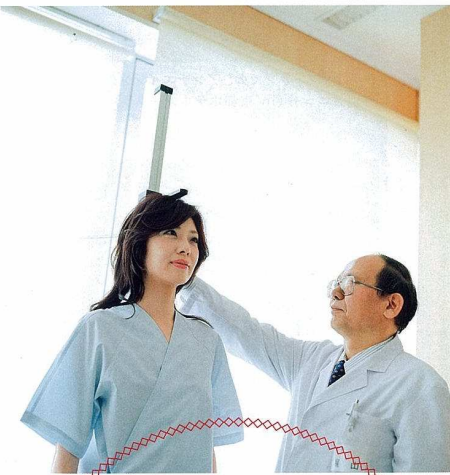
少し怖い気もするけれど、とにかく自分の体の状態を正しく知ることがアンチエイジングの旅の第一歩。検査を受けるのは、糖尿病などの生活習慣病を専門とする梶山内科クリニック。この4月からアンチエイジングドックを導入、豊富な臨床経験を生かして詳細な検査をしてくれます。血液や尿検査の経験はあっても、病气や老化の元凶となる酸化ストレス

アンチエイジングドック  
梶山内科クリニック

旅のメインは、最先端のアンチエイジングドック。体の老化度と、その予防法を教えてください!



体重や血圧などの基本検査の後に種々の機器検査を行う。ゲーム感覚で脳年齢を測るWisconsinカードテスト(中上)。骨の密度を測定(中下)。血管年齢がわかる血圧脈波検査(左下)。



### アンチエイジングドックって何?

通常の間ドックは、病気の早期発見・治療を目的としますが、アンチエイジングドックは、「病気になる前」から老化や生活習慣による体のダメージを知り、予防することを目的とした検査。将来の病気の芽をチェックする。最新の予防医学に基づいて生まれたものです。

その度合い、骨密度や血管硬化、ホルモンバランスから調べる体内年齢など、初めて見る検査ばかり(左表参照)。なかでも、その場で判定が出る「皮膚年齢」は、結果を聞きたくないような聞きたくないような……。理事長の梶山静夫さんは「結果が出てガツクリするだけじゃダメですよ(笑)。ドックの目的は、自分に合った具体的な老化対策法を得ることにある」と力説します。まずは、弱点を知ることを、それをサプリメントで補うのか、運動で補うのか、一般論ではない、自分に合ったアドバイスが受けられるのも、アンチエイジングドックの大きな魅力なのです。